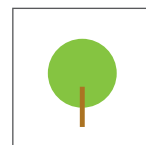


## (2) 樹木

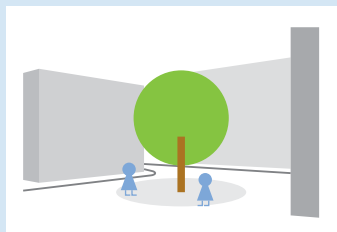
歴史的景観資源となる「樹木」は、数十年、時には百年単位の年月をかけて現在の姿となっています。これらは、街に潤いをもたらす貴重な景観資源です。樹木の構成パターンに応じた様々な空間づくりを見ることができます。

### ① 単木の場合



#### シンボル性を活かす工夫

単木のシンボル性を強調して施設を配置したり、周りの舗装材や植栽、ベンチなどの環境整備を考慮することで、人々が集まるたまり空間を創出することができます。



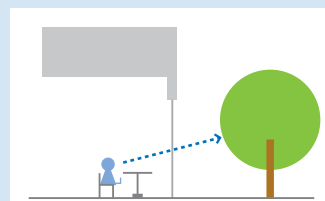
#### 街のシンボルと なっています

単木を強調した建物の配置、周辺の環境整備を行うことで、街のシンボルとして活かされています。



#### 樹木を見て楽しめる工夫

建物を計画する際に、歴史的景観資源である樹木が美しく見える位置に開口部を設けたり、見え方を意識した間取りとすることで、四季折々の変化を楽しむことのできる空間をつくることができます。

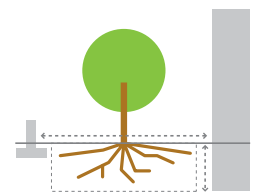
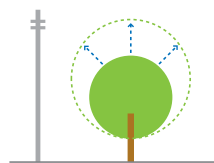
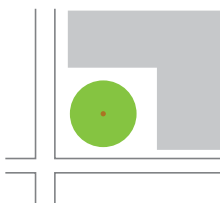


### 景観 まちづくりの POINT

#### 樹木に配慮した開発を心がけましょう

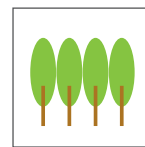
建物や工作物（電柱や看板など）を計画する際は、あらかじめ既存樹木の位置を確認したり、成長も考慮することで、樹木と建物がお互いを引き立て合う空間づくりが行えます。

また、広場や歩道等の整備をする際に、根を傷つけたり、樹木の生育環境に影響を与えないよう、十分な植栽基盤を確保することで、健康で美しい樹形に育つ環境をつくるすることができます。



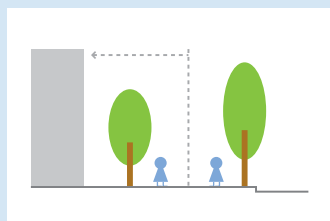
植栽基盤を十分に確保する

## ② 並木の場合



### 並木を活かす工夫①

建物をセットバックさせ、並木と呼応するように民地側も緑化をすることで、緑豊かな空間を創出することができます。

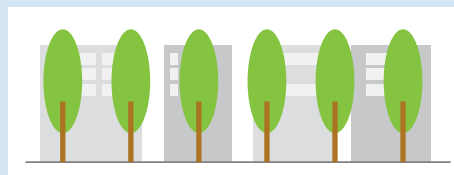


### 印象的な通りが形成されています

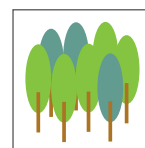
大きく育った連続的な並木が、印象的な通りづくりに一役かっています。

### 並木を活かす工夫②

並木沿いの建物の壁面線やファサードデザインを揃えることで、並木が映える街並みづくりができます。



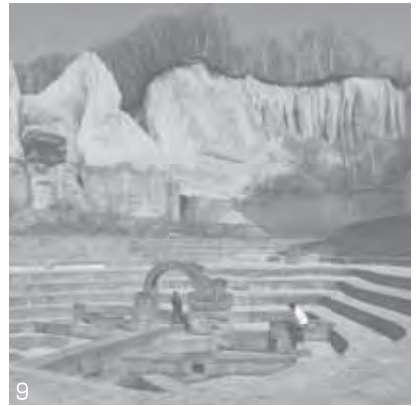
## ③ 群の場合



### みどりの群が住宅地に潤いを与えています

地域の景観を特徴づけるまとまった「みどり」が財産として守られており、緑豊かな印象を生み地域としての価値が高まっています。





1. 札幌市水道記念館 2. カトリック北一条教会 聖堂 3. レンガの館 4. 苗穂小学校学校記念館 5. 北大イチョウ並木 6. 北星学園創立百周年記念館 7. 沼田家住宅旧りんご倉庫 8. 城下医院 9. 石山緑地

### 歴史的景観資源のみどころ

## 法の女神テミスはどこをみてる？

大通公園の西端にある札幌市資料館は、全国で7ヶ所しか建設されなかった控訴院（高等裁判所）のうち、現存（名古屋と札幌に残る）する貴重な歴史的建造物です。その建物の正面にある車寄せには、中央にギリシャ神話の法の女神「テミス」の顔が、左右には正邪を測る天秤と力を象徴する剣が刻まれています。

テミスの顔をよくご覧ください。目隠しをしています。なぜでしょう。目隠しは彼女が前に立つ者の顔や姿を見ないことをあらわすもので、貧富の差や権力にとらわれない「法の前の平等」を示すからだそうです。国内では最高裁判所にもテミス像があります。

